

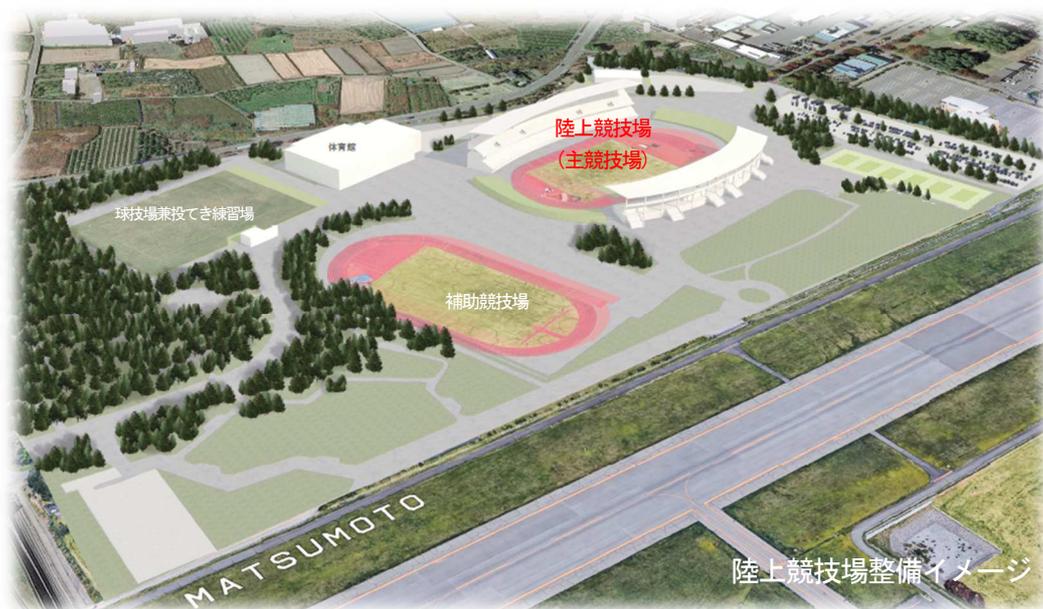
松本平広域公園陸上競技場の整備方針

松本平広域公園陸上競技場は、昭和52年（1977年）に建設され、翌年に開催された「やまびこ国体」の開・閉会式および陸上競技の会場となりました。また、令和9年（2027年）開催予定の第82回国民体育大会および第27回全国障害者スポーツ大会において、松本平広域公園の陸上競技場は、開・閉会式および陸上競技の会場に予定されています。

現競技場は、県内唯一の日本陸上競技連盟第1種公認競技場である一方で、建設から40年以上を経て老朽化が進むとともにバリアフリー対応に課題があり、空港に隣接するという立地条件などから、第1種公認基本仕様（平成6年制定）を十分には満足できておらず、競技面や運営面などから改善を求める声を頂いています。

このため、長野県では、陸上競技場の整備の方向性について昨年度から検討を行ってきました。その結果、陸上競技場を現在の位置に建替える案が最適と判断しました。

今後は、この案をもとに、競技団体や障がい者団体をはじめ、広く県民の皆さんのご意見を伺いながら具体的な設計を行い、令和7年度（2025年度）の完成を目指していきます。



令和元年（2019年）11月22日

長野県建設部

松本平広域公園陸上競技場 整備方針検討の概要

1 施設の現状

名 称	松本平広域公園陸上競技場
管理者	長野県
完 成	昭和52年(1977年)
仕 様	日本陸上競技連盟公認 第1種陸上競技場
トラック	400m 9レーン 全天候ウレタン舗装
スタンド	地上3階 鉄筋コンクリート造、屋根 500席分、エレベーターなし
収容人員	20,500人(メインスタンド 6,500人、芝生席 14,000人)
補助競技場	400m 8レーン 日本陸上競技連盟公認 第3種陸上競技場



第1種公認基本仕様[※]への適合状況

主な項目	現状	第1種公認基本仕様	適否
観客席	20,500人	15,000人以上	○
メインスタンドの屋根	500人(席)	7,000人(席)程度	×
夜間照明(照度)	31 Lx(ルクス)	平均1,000Lx(ルクス) (フィニッシュライン1,500Lx)	×
雨天走路	メインスタンド下 (60m×3コース)	メインスタンド側 またはバックスタンド側	○
トラック・フィールド の長軸方向	東西	南北(推奨)	×

このほか、車椅子席やスロープは設置しているもののエレベーターが無いなどバリアフリー対応が不十分

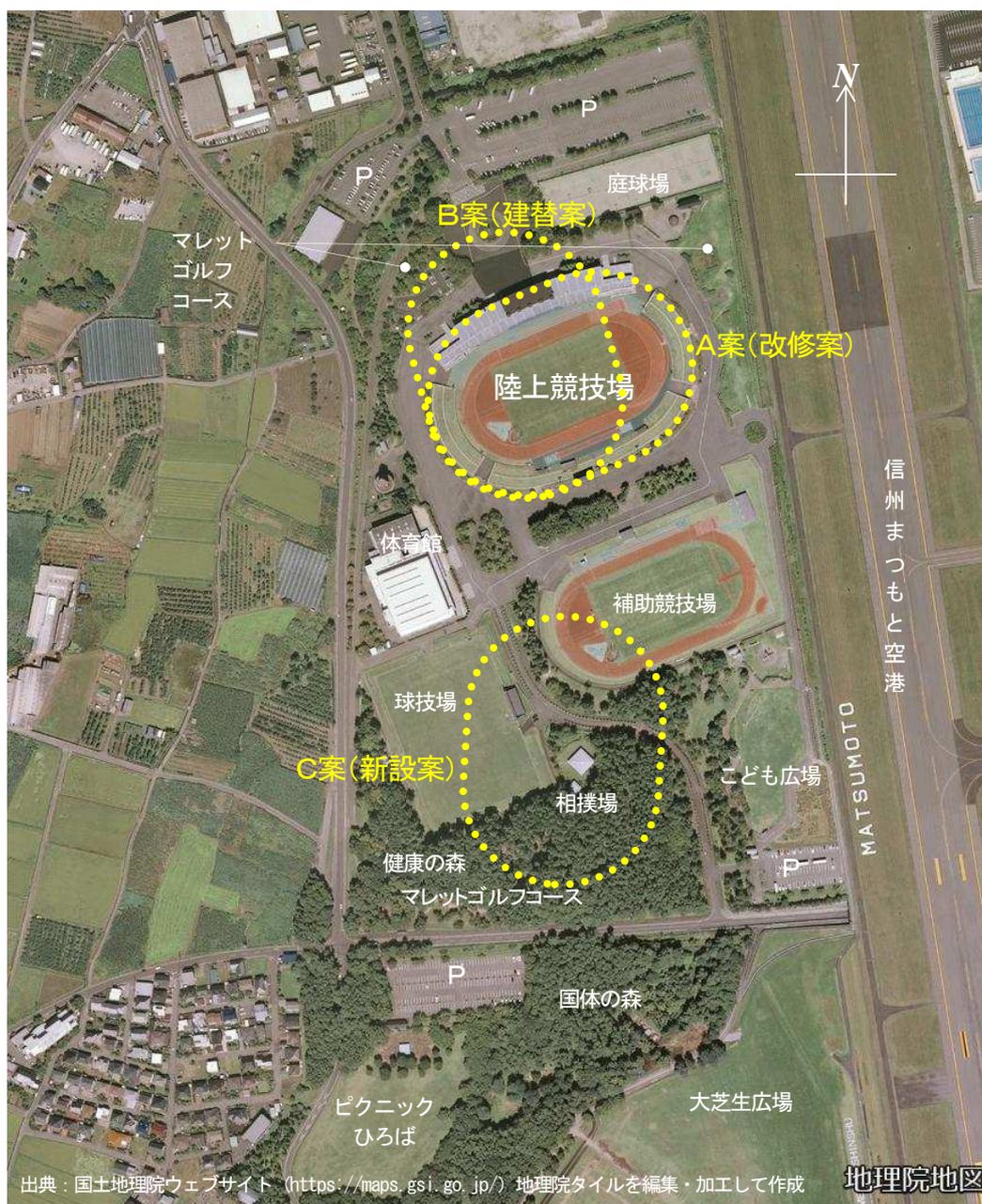
※ 日本陸上競技連盟が定める第1種公認競技場における構造物等施設の基本仕様(平成6年(1994年)制定)。国民体育大会の陸上競技会場は、国民体育大会施設基準において、日本陸上競技連盟が公認する第1種陸上競技場であることが求められている。

2 検討内容

陸上競技場を含む松本平広域公園は、空港に隣接しており、航空機の安全運航を確保するため設けられている高さ制限（転移表面[※]）以下で、施設を検討する必要がある。

本検討においては、次の3案を基本として、それぞれにおいて、航空法等関係法令を遵守しつつ、競技、運営および観戦面の向上を図り、経済性にも優れた最適な施設規模（照明等の高さを含む）、概略の形状、配置・方向を検討した。

- A案（改修案） 現在の主競技場の改修
- B案（建替案） 主競技場を現在の位置で建替
- C案（新設案） 主競技場を公園内に新設。現主競技場は補助競技場として活用



※ 航空法に定められる空港周辺における建物等の設置制限の一つ。航空機の安全な離着陸を確保するため、転移表面の上に出る高さの建造物等の設置は禁止される。

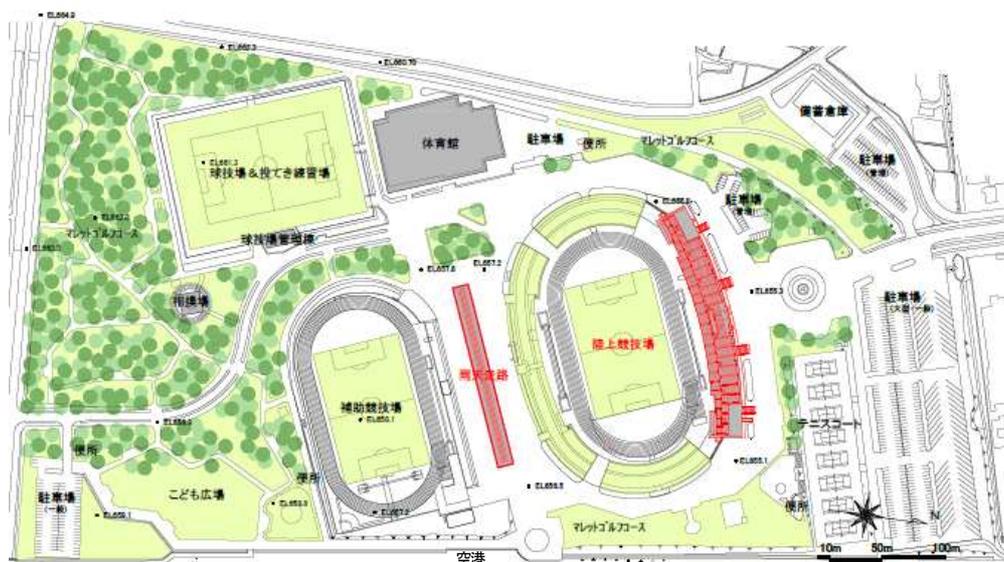
(1) A案（改修案）

建物（構造体）を活かし、メインスタンド内にある雨天走路をバックスタンド外側に移設することで、必要な諸室を確保する。メインスタンドの観客席は、建築基準法等に適合するよう改修、エレベーターを3基新設しバリアフリー対応を図る。トラック・フィールドは第1種公認継続のための必要な改修を行う。

ただし、転移表面以下では、メインスタンド7,000席の屋根、および必要照度を確保できる照明の設置は困難（国体等においては仮設照明等の対応が必要）。また、現施設の改修のため、トラック・フィールドの長軸方向は現在の東西方向のままとなる。

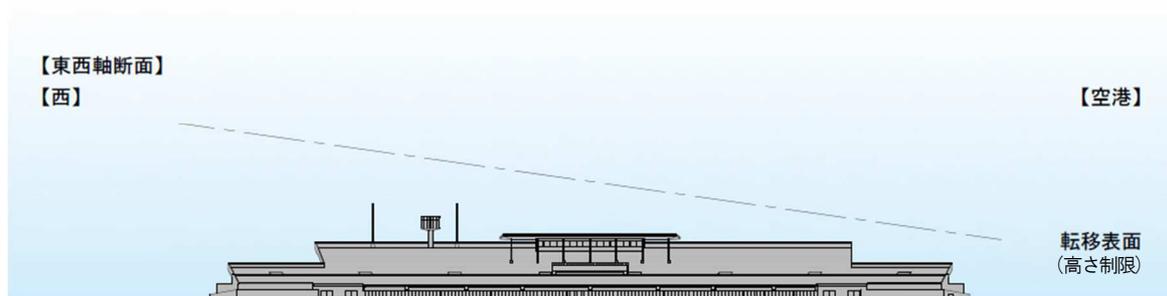
観客席数は現在よりもやや減少し18,900席、総事業費は約40億円を見込む。

A案（改修案）平面図



□は影響を受ける施設

A案（改修案）断面図



(2) B案（建替案）

現在の主競技場を取壊し、メインスタンドを西側にして建替える。

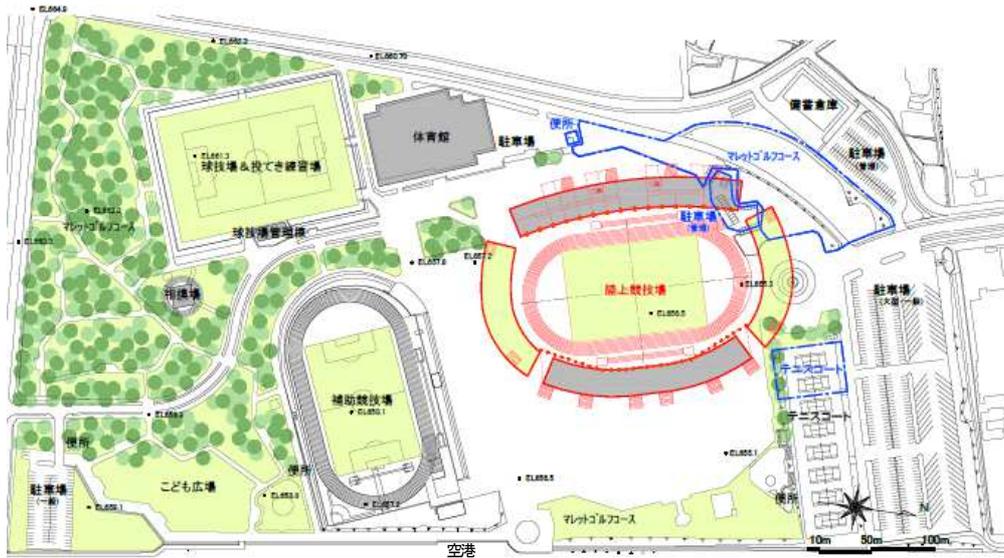
トラック・フィールドの長軸はほぼ南北方向とし、メインスタンド内に必要な諸室、バックスタンド内に雨天走路を設けるほか、エレベーター等の設置によりバリアフリー化にも対応する。

メインスタンドには屋根を設け、その下に約7,000人分の観客席を確保。照明は屋根先またはフレーム先に分散して配置することで、転移表面以下で必要な照度が確保可能。

マレットゴルフ場の一部、テニスコートの一部に影響するため、機能代替のための関連工事が必要。

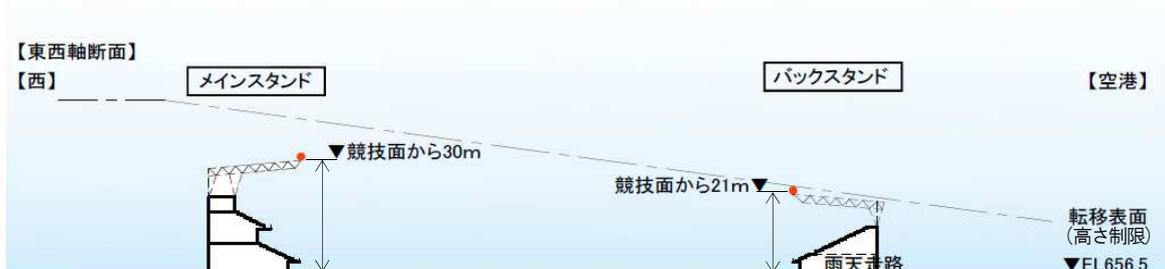
観客席数は約20,000席、総事業費は関連工事を含め約130億円を見込む。

B案（建替案）平面図



□は影響を受ける施設

B案（建替案）断面図



5 検討結果

前記の3案を比較した結果、現施設を取り壊して建替える（長軸方向は南北）B案（建替案）が最適と判断した。

評価項目		A案（改修案）		B案（建替案）		C案（新設案）	
性能	第一種公認基本仕様への適合	×	不適合 （照明、屋根）	○	適合	○	適合
	競技・運営のしやすさ	×	東西軸 競技中断リスク 有り（照明）	○	南北軸 夜間・曇天時も 競技可能（照明）	○	南北軸 夜間・曇天時も 競技可能（照明）
影響	利用者への影響 （陸上競技）	△	工事中は他会場で 競技会の開催が 必要	△	工事中は他会場で 競技会の開催が 必要	○	競技会への影響 は小さい
	利用者への影響 （マレットゴルフ、球技）	○	なし	○	小さい	×	大きい
	周辺住宅地への影響	○	なし	○	小さい	×	緩衝緑地縮小 住宅地に接近
管理	管理のしやすさ	×	老朽化	○	容易	○	容易
総事業費 ※		○	約40億円	△	約130億円	×	約145億円
総合評価		×	改修のため他案より安価だが、基本的な性能を満足できず、かつ、近い将来に更に長寿命化対策などが必要となる恐れがあることから、費用に比し整備効果が低い。	○	多額の費用を要するが、十分な性能が確保可能。工事期間中、陸上競技会へ影響があるが、競技団体の協力により対応可能。	△	最も多額の費用を要す。十分な性能が確保可能で、陸上競技への影響は小さいが、他の公園施設利用者や周辺住宅地への影響が大きく、B案よりも劣る。

（注） 総事業費は現時点の概算額であり、競技場整備で影響を受ける施設の整備想定額を含む。

6 今後のスケジュール（案）

令和元年度	(2019)	基本設計	(～令和2年度)
令和3年度	(2021)	実施設計	
令和4年度	(2022)	取壊・撤去	
令和5年度～	(2023～)	建築工事	
令和7年度	(2025)	完成（目標）	、日本陸上競技連盟による公認検定
令和8年度	(2026)	国民体育大会、全国障害者スポーツ大会リハーサル大会などの 各種競技会	
令和9年度	(2027)	第82回国民体育大会、第27回全国障害者スポーツ大会	

（参考） 検討経過

2018年	12月	整備方法検討調査費を予算化 公募型プロポーザル方式（技術者評価型）にかかる手続き開始
2019年	2月	建設コンサルタント等技術評価委員会の開催 技術提案特定者（株久米設計）と業務契約
	3月～9月	関係課等※と株久米設計とによる検討会議（計8回）
	10月	とりまとめ
	11月	公表

※関係課等： 建設部 都市・まちづくり課、施設課、松本建設事務所
健康福祉部 障がい者支援課
教育委員会事務局 スポーツ課、国体準備室

建設部 都市・まちづくり課 都市公園係 (課長) 猿田 吉秀 (担当) 阿部 仁志 電 話: 026-235-7296 (直通) FAX: 026-252-7315 メール: toshi-machi@pref.nagano.lg.jp

松本建設事務所 維持管理課 公園管理係 (所長) 藤池 弘 (担当) 伴野 光彦 電 話: 0263-40-1981 (直通) FAX: 0263-48-1216 メール: matsuken-ijikanri@pref.nagano.lg.jp
--